







(三面より続く)

この過程で、攻防の質が変化する。この新状況に、先ず、この分岐は開戦と結合しつつ開戦の左翼は、港大などとして6/15のイメージが、4/28のイメージが、10/8/10/11をピークとして準備され、この国際性と一國性のギャップ、11月決戦という一つの目標と、どこからか打撃を打ち破り11月への波を形成し、しかも国際的にはこのようにするものが、12月国会解散説をめぐり、社民、共産、公明の動きや、活発な左翼の動き等々が、この過程で、最も有効に軍事的に登場するためには、どうすれば良いのか、等々として。

それ故、我々は、この分岐を、より根底的に大衆の分解として押し進め、前段階蜂起への再帰として勝ち取るために、大衆の分解と国際会議を準備し、赤軍一革命戦線(赤)の組織化を勝ち取らねばならない。

大阪一東京戦争は、日本階級闘争史上かつてないかような地点を作り出すであろう。それは人民が武器を敵から奪うこととを学び、敵の攻撃にそれ以上の報復をすることを学び、大学立法一大学戦争から脱皮し、無数の軍隊が一つの革命戦線として動き、全市民社会を国家破壊の革命戦争の渦の中へ叩き込むことを学んできた。

前段階蜂起 一世界革命戦争に向けて一  
第二回国際集會に結集せよ！  
世界革命戦線協議會を立ち取れ！  
9月15日、6時、日比谷野音

「赤軍」  
No 1, 2  
発売中  
現代革命論  
安保闘争論  
過渡期世界論  
No 3  
近日発売

編山集山言

●発行準備号は、我々の声明として、プロレタリア人民に送り、ブルジョアに打ちつけられるものである。

●今年が秋であり、時局が決定の段階に達しているが、我々は前段階蜂起への深く重々しい階級攻防に固く立ち、機軸を赤軍を週刊で発行する予定である。

●我々はこの重大な宣伝の武器として役立つべき新聞として、この「赤軍」を定着させる決意であり、読者諸兄の協力を要請する。

●発行準備号は、我々の声明として、プロレタリア人民に送り、ブルジョアに打ちつけられるものである。

●今年が秋であり、時局が決定の段階に達しているが、我々は前段階蜂起への深く重々しい階級攻防に固く立ち、機軸を赤軍を週刊で発行する予定である。

●我々はこの重大な宣伝の武器として役立つべき新聞として、この「赤軍」を定着させる決意であり、読者諸兄の協力を要請する。